ドキュメンタリー映画「漢字文明と日本」ビデオ制作

これは平泉渉前会長と法政大学・王敏名誉教授との間で構想された、云わば前会長のレガシー・プロジェクトである。取材・撮影したい人物（例えば、「フランスの大儒学者」と言われた故レオン・ヴァンデルメールシュ博士）や場所（例えば、中国最古の「夏」王朝の創始者であり、治水に注力した「禹王」に関連する日本に残る遺構）については、王敏博士にアイディアがあり、当初から取材・撮影は行われてきた。しかし、全体の構成、更に細かい脚本が決まらず進捗が思うに任せなかった。そこで毎月制作会議を催すようになって漸く全体の構成が固まり、標的とする視聴者層も設定され、脚本が完成しつつある中、本年度は以下の取材・撮影が行われた。

- 漢検協会漢字文化研究所・阿辻哲次所長（京都大学名誉教授）の取材及び撮影
- 福井県勝山市の平泉寺白山神社の三十三式年開帳の撮影
  尚、かな漢字変換を確立し東芝ワープロJW-10を世に出した森健一氏の取材・撮影をツテを辿って試みたが、高齢で取材は受けていないと聞き取材を断念した。

また、予定していた新潟県三条市の諸橋轍次記念館の取材・撮影については、三条市教育委員会と折衝中である。

脚本：　法政大学・王敏名誉教授
撮影：　Kプロビジョン・板橋昌二常務取締役
制作：　鹿島平和研究所・平泉信之会長

メンバー　（構想・脚本）

王　敏

桜美林大学大学院 特任教授

法政大学 名誉教授

周恩来平和研究所 所長

（監督）

板橋　昌二

株式会社Ｋプロビジョン 常務取締役

（制作）

平泉　信之

一般財団法人鹿島平和研究所 会長

株式会社アバンアソシエイツ 顧問